

市内で行われた活動やイベントを紹介します。

# まちの顔

MACHI NO KAO

## in 能登島小学校 夏休み 防災教室

8月20日・21日



ガスマスクを付けてみる児童



はしご車に乗る児童

平成19年3月25日に起きた能登半島地震を教訓に、石川県は今年の夏休み期間中、小学校高学年の児童を対象に、体験型の防災教室を開き、七尾市では能登島小学校で行われた。1泊2日の日程で避難生活を疑似体験するため学校の体育館に宿泊し、アルファ米やパンの缶詰などの災害非常食を試食した。また、煙が充満した場所からの避難や消火器の取り扱い、救護活動の体験など、実践的なプログラムを通じて身をもって災害への備えを学んだ。児童は、初めて見るものや体験するものにも楽しみながらも、災害時の備えの重要性を認識していた様子。



科学実験教室で興味津々の児童



救急車での応急処置を体験



地震体験車

## 日々の防災意識を!

### 七尾鹿島 9月1日(防災の日) 自衛消防隊 訓練大会

9月1日は「防災の日」。大正12年9月1日の関東大震災にちなんで制定された記念日で、この日に全国各地で数多く防災訓練が開催されている。七尾市でも毎年、七尾鹿島広域圏防火協会が主催となり、七尾鹿島自衛消防隊訓練大会が開催されている。今年度の参加隊数は、男子20隊、女子11隊の参加。各隊それぞれ、日ごろの訓練の成果を十分に発揮し、迅速かつ的確な動きで各種目に挑んでいた。



担架で搬送作業



バケツ注水訓練②



担架での救護作業



バケツ注水訓練①



消火器具による訓練



消火栓放水訓練





8月20日:浜野西病院

8月16日、石崎町の竹田由之造さんが100歳(明治42年生まれ)の誕生日を迎えた。20日には武元七尾市長がお祝いに訪れ「これからもお元気で」と声をかけると、笑顔で応えていた。現在でも、規則正しい食事と生活を送っている。

百寿(100歳)お誕生日おめでとう  
竹田由之造さん



8月27日:いいPARK七尾海水浴場

大吞保育園の園児17人が庵町の海岸で、体長3~5浬のクロダイの稚魚1万匹を放流した。園児たちは大きな声で「大きくなってね」と願いを込めた。最近、子どもたちの魚離れが進んでいることもあり、地域の水産資源に興味をもってもらおうと企画された。

クロダイ稚魚1万匹 放流  
大吞保育園



8月26日:向平さん自宅

8月26日、下町の向平権六さんが100歳(明治42年生まれ)の誕生日を迎えた。現在は、妻のかかりさん(97歳)と2人暮らししており、2人とも健康そのもの。武元七尾市長からお祝いの品を贈られると「ありがとうございます」とはっきりとした口調で答えていた。

百寿(100歳)お誕生日おめでとう  
向平 権六さん



8月27日~31日  
七尾港第一埠頭

七尾港開港110周年記念事業の一環で、帆船日本丸が七尾港に寄港した。5日間の停泊中に、操帆訓練(セイルドリル)、一般公開、登しょう礼など見物客を大いに賑わせてくれた。出港では、七尾みなと保育園と東みなと保育園の園児によるマーチング演奏で出港を祝った。

「太平洋の白鳥」帆船日本丸  
七尾港に寄港



8月26日:七尾市役所

全国小学生陸上競技交流大会に女子ソフトボール投げに出場の岡崎遥耶さん(小丸山小6年)が市役所を訪れ抱負を語った。49歳55の記録を出して7月の県大会では優勝したので、全国大会では七尾、石川の代表として恥ずかしくないよう60歳を目標に頑張ることを誓った。

全国小学生陸上競技交流大会 出場  
女子ソフトボール投げ



9月2日:七尾市役所

全国健康福祉祭(ねんりんピック)北海道・札幌大会に出場する石川県選手団の七尾市メンバーが市役所を訪れ、武元七尾市長に意気込みを語った。選手を代表して、日下登喜雄さんが「交流を深め、来年石川県で行われる、ねんりんピック石川をPRしてきたい」と力強く誓った。

ねんりんピック北海道・札幌大会 出場  
石川県選手団七尾市メンバー